

風とおしの良い夢のあるまちづくり

ながら俊一 通心



令和7年新年号

平群町議会議員
ながら俊一事務所
〒636-0925
奈良県生駒郡平群町越木塚 623-3
TEL・FAX 0745-45-3955
https://nagara-shunichi.com/



新年あけましておめでとうございます。

ごあいさつ

新たな年を迎え、凛とした冷たい空気に風花が美しく輝く時期が訪れました。平群町にお住まいの方々におかれましては、益々、ご健勝のこととお慶び申し上げます。また、平素は、平群町町議会に対しまして、ご理解ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。私自身も、令和7年を迎え、6回目の新年のご挨拶をさせて頂く事になりました。これから心あらたに、初心を忘れることなく役割を果たし、提案をしていく事を心の基軸と考え取り組んでまいります。また、『風とおしの良い夢のあるまちづくり』を基調にし、平群町の皆様方の『おもい（ご意見・ご提案）』をリアルタイムで感じ、町行政にいち早く届けるようにとの思いから、ホームページを立ち上げています。この度、InstagramとFacebookを始めました。時代も多様化し、スピードを求められる日々になり、インターネットの活用が不可欠となっております。私自身の定例議会・臨時会での質問などを掲載する事で少しでも議会活動を理解して頂き、町行政の橋渡しの役割を担えたらとの思いから始めました。定例議会の一般質問については、町民の皆さまからのお声を元に質問を選び、質問させて頂いてまいります。詳細につきましては、ホームページをご覧いただければ幸いです。今回の新春号では、9月定例会で行った3点の一般質問から「認知症施策と医療と介護の推進について」と12月定例会で行った5点の一般質問の中から「社会体育事業について」と「竜田川の河川整備を」の2点を掲載させて頂きます。

9月定例会 一般質問

認知症施策と医療と介護の推進について

質問要旨

平群町において、令和6年7月現在、高齢化率が39.1%となり、すでに3人に一人が65歳以上という超高齢社会となっております。一人暮らし高齢者や高齢者のみの世帯が増加するとともに、特に認知症高齢者の増加が今後の大きな課題となっております。認知症の方が尊厳と希望をもって認知症と共により良く生きていくことができるよう、また、認知症があってもなくても同じ社会で共に生きる「地域共生社会」の実現と、認知症の人や家族の視点を重視しながら、認知症への正しい理解を深める活動や、医療と介護の連携強化、認知症の早期診断、早期対応など認知症の人、及びその家族への効果的な支援体制の強化が求められています。そこで、3点お伺いします。
① 現在の一人暮らし高齢者、高齢者のみの世帯、認知症高齢者の状況について
② 平群町として特色のある認知症施策の取り組みについて
③ 「医療と介護の連携強化」として具体的な取り組みについて

答 弁

(住民福祉課)

1点目、「現在の高齢者の状況」でございますが、令和6年4月現在、一人暮らし高齢者数は1,161人、高齢者のみの世帯数は1,520世帯3,075人となっております。また、認知症高齢者数は、要介護認定を受けておられる方1,481人のうち794人となっております。
続きまして、2点目「特色のある認知症施策の取組について」のご質問にお答えさせていただきます。本町の取組といたしまして、地域包括支援センターを拠点とし、認知症になっても住み慣れた地域で希望をもって日常生活を過ごせるよう、認知症サポーター養成講座を開催し、認知症に対する理解促進を図っています。
また、認知症の人やその家族の視点を重視しながら、地域住民における早期からの支援を実践するため、前年度に「チームオレンジ」を設立いたしました。
また、町内医療機関や関係機関と積極的に連携協働し、昨年には町内医療機関が主催する講演会に共催し、認知症予防とその対策についての講演と対談形式でのディスカッションに参画いたしました。民間医療機関の繋がりから有名講師による講演と非常に多くの住民の方々の参加が得られ、その中で町としての認知症施策の取組などについても周知啓発できたと認識しています。今後も地域包括支援センターを拠点として、認知症相談会や予防事業等の継続実施、また、地域医療機関および関係機関との連携を強化し、住民の方への支援を図って参ります。続きまして、3点目「医療と介護の連携強化」として具体的な取組についてのご質問にお答えさせていただきます。
生駒地区医師会と生駒郡内4町との「生駒郡医療と介護の連携に関する協定書」に基づき、「医療と介護の連携の中での課題解決に向けた取組み」や「切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進」、「医療・介護関係者の情報共有の支援」など地域包括ケアの推進、深化に取り組んでいます。今後も医療と介護の密な連携により、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援が包括的に確保され、地域全体で高齢者を支える体制構築を実現して参ります。

再質問要旨

課題解決に向けた今後の各種関係機関との連携強化についてどの様に考えているのか。

答 弁

(住民福祉課)

議員ご通告にありましたように、地域包括支援センターでの「早期相談」、「早期発見」のための取組みの充実と、町内医療機関との連携により、物忘れ外来などへの「早期診断」に繋げ、また、地域や各種介護サービスによる「早期支援」を行うための各関係機関との連携強化、体制構築が課題解決に繋がるものと考えています。今後におきましても、医師会等と協力しながら在宅医療・介護連携推進のための体制構築に努めてまいります。

12月定例会 一般質問

竜田川の河川整備を

質問要旨

歴史ある平群町は、時代まつりが開催することができる観光資源を有しています。平群ハイキングマップには、東西に北部、中部、南部、また、平坦コースなど色々な散策コースを紹介されています。観光ボランティアガイドの会の皆さんは、大和路平群道の駅を拠点に平群町の歴史の良さを発信して頂いています。日々、平群町でお住まいの方々も朝、夕の散歩に活用されていると聞いています。
次に、平群町の中心を流れる竜田川ですが、桜並木が充実している場所もありますが、河川敷が途切れているところもあり、上手く運動していない点です。中学生の登下校時に川沿いを歩き、登下校しているのを見かけます。近年、道路環境の整備を重きにおく傾向がありますが、遊歩道としての位置付けとして考える必要があると考えます。今後の取り組みについて、お聞かせください。

答 弁 (都市建設課)

平群町では、町内ボランティア団体、河川沿いの自治会、及び郡山土木事務所などで構成する「まほろば遊歩道推進の会」が主体となり、平成19年に「竜田川まほろば遊歩道」整備構想を策定し、事業を進めております。

議員ご指摘の樺原橋西詰から金勝寺南側までの遊歩道が途切れている区間については、現在、樺原川を渡る橋梁が老朽化により朽ちており、その他の箇所についても、荒れ地で通行不能となっていることから、迂回ルートを設定しております。

この未整備の区間は、「勸請縄」や、川の真中に大きな岩が立つ「謎の巨岩」が見える景観の良いルートになりますが、整備には橋梁の架け替えや殆どが個人の所有地となっていることなど、非常にハードルが高い状況であることから、これまでも奈良県に対して整備の要望をして参りましたが、事業化には至っておりません。

また、今後の取り組みについては、例年、桜のライトアップや鯉のぼりの掲揚、パンジーやピオラ等の花の植栽活動のほか、福貴親水公園では、奈良県により新たに遊具の設置や、役場南側の吉新2号公園前では、これまでに防災かまどベンチが設置されており、更にベンチ等の施設を設置することで、憩いの場を創出するとともに、新たに桜の植樹についても、関係団体とも協議をしながら進めて参りたいと考えております。



(馬鉄淵)



(竜田川桜並木)

社会体育事業について

質問要旨

本年度より、平群町民体育大会に変わり、秋のイベントとして平群町スポーツフェスティバル2024が開催されました。様々なスポーツの体験、パフォーマンスショー、地域クラブによるダンス披露会などが、催されました。

また、社会体育事業として「軽スポーツデー」を開催するなど町民の皆様の多様な社会教育活動に貢献して頂いていると、感謝しております。

ただ、軽スポーツの備品を準備するにあたり窓口が一元管理されておらず、準備にひと苦労あると聞いています。大人から子どもが気軽にできる軽スポーツの普及のため、どのように進めていくべきと考えておられるか、お聞かせください。

答 弁 (教育委員会総務課)

教育委員会で所有している軽スポーツの備品については、体育施設の利用と同時に使用される場合は、総合スポーツセンターの窓口で貸し出し、使用されます教育委員会の窓口への備品の使用に関する問い合わせについても、指定管理者である平群町地域振興センターと情報共有を行い、取り次ぎもを行っているのが実情としてございます。教育委員会が所有していない備品(モルックやスポーツ輪投げ等)については、所有する団体の意向(借用が可能であるか、情報提供が適切か)も踏まえて、可能な範囲で地域の方々の使用ニーズに対応できるよう、情報提供に努めてまいりたいと考えます。

終わりに

新しい年を迎え、本町の令和6年度もあと3か月となりました。この厳しい寒さを越え、温かい日差しを感じる頃には、新しい年度が始まることとなります。本年を振り返るとコロナウイルス感染症もインフルエンザと同じ5類相当になり、実生活も落ち着きを取り戻し、行事・イベントなども再開し始めました。国政においては、衆議院議員選挙が執行され、社会環境も変化がありました。

平群町行政におきましては、奈良県から助成して頂き、財政健全化に取り組み、少し改善されましたが、余裕のある町としての位置づけとして考えるには、ほど遠いのが現状です。

令和7年度は、役場庁舎建設、平群中学校長寿命化改修等、多額な予算を必要とする案件が控えており、大きなかじ取りが必要な時期でもあります。今後、他の市町村に負けないまちづくりは、より一層の知恵が必要と感じます。

これからも、議員活動を日々努める中、多くの町民のお声を真摯にお聞きし、町行政に反映できるように邁進してまいります。そのことを続け、真摯に取り組むことが町民の皆さまにお返しできる活動と考えるからです。

これからも情報を発信し、皆様のご期待に沿えるように『初心、忘るべからず』で、邁進してまいります。これからも、よろしくお願いたします。



右のQRコードを読み取り下さい。平群町議会の中継動画がご覧いただけます。



平群の良さを



平群町観光ホームページ

再発見して下さい

山のぼっけNAVI.



『画像は平群町ホームページより引用』

皆様の声を、ぜひ、  
ながら俊一にお聞かせください！

ながら俊一事務所 〒636-0925  
奈良県生駒郡平群町越木塚 623-3  
TEL・FAX 0745-45-3955  
携帯電話 090-7844-8073  
https://nagara-shunichi.com/  
Mail :nagara@nagara-shunichi.com



